別記第3号様式の2（第7条の2第1項関係）

深夜勤務制限請求書

年　　月　　日

多古町教育委員会　様

所　属

職氏名

下記のとおり　　　　　のため、深夜勤務の制限を請求します。

□養育

□看護

記

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1　請求に係る子又は要看護者 | 氏名 |  | 続柄等 |  |
| 生年月日 | 年　　月　　日　（□出産予定日） |
| 養子縁組の効力が生じた日 | 年　　月　　日 |
| 2　職員の配偶者で当該子の親である者の有無及び状況 | □有 | □ 深夜において就業している□ 負傷、疾病又は身体上若しくは精神上の障害により養育が困難である。□ 産前8週間（多胎妊娠の場合にあっては、14週間）又は産後8週間以内である□ 当該子と別居している | □無 |
| 3　要看護者の状態及び具体的な看護の内容 |  |
| 4　請求に係る期間 | 　　　　　年　　月　　日から　　　　　年　　月　　日まで□毎日　　　□その他（　　　　　　　　　　） |

注

1　該当する□にはレ印を記入すること。

2　「続柄等」欄は、請求に係る子又は要看護者の請求者との続柄等（請求に係る子が勤務時間規定第4条第3項第1号に規定する特別養子縁組の成立前の監護対象者等に該当する場合にあっては、その事実）を記入すること。

3　「生年月日」欄は、子を養育するために請求する場合のみ記入すること。なお、請求に係る子が請求の際に出生していない場合には、「生年月日」欄に出産予定日を記入し、□出産予定日にレ印を記入すること。

4　「養子縁組の効力が生じた日」欄は、子を養育するために請求する場合のみ記入すること。

5　「職員の配偶者で当該子の親であるものの有無及び状況」欄は、子を養育するために請求する場合のみ記入すること。なお、「就業している」とは、就業日数が1月に3日を超えることをいう。

6　「要看護者の状態及び具体的な看護の内容」欄は、要看護者を看護するために請求する場合のみ記入すること。

7　「請求に係る期間」欄は、子を養育するため深夜勤務の制限を請求する場合には、当該請求に係る子が満6歳に達する日以後の最初の3月31日以前の日を制限終了日として請求すること。